

1～3年

いじめについて考えてみよう

道徳

総合

学級活動

年

組

番

名前

☆どうしたら、いじめを防ぐことができるか考えてみよう。

☆今、自分ができることを考えてみよう。

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

*指導する先生や保護者の皆様へ（島田市立金谷中学校・野中知行）
「いじめ追放」を掲げている学校の例を題材にしてみました。「生徒主体」という部分がこの学校のすばらしい部分なのではないかと思います。「今、自分ができること」を考えさせる等、主体的にいじめについて考えさせる機会としてみてください。

いじめ許さない

掛川西中

生徒主体で対策16年



伝統の「いじめ追放宣言」を行った生徒集会
11月20日、掛川市立西中

学校でのいじめが社会問題になる中、掛川市立西中 松本勇男校長は生徒の「自治」を基盤に、16年前から「いじめ追放」を掲げている。いじめを許さない雰囲気や、兆候を見逃さない仕組み作りを生徒自身が受け継ぎ、今も支えている。活動は市内の他校にも広がっている。

他校にも広がり

掛けや
情報収集

西中は生徒数約800人の市内最大校。取り組みは1996年、生徒会が発案した学期末の「いじめ追放宣言」から始まった。この数年前から全国では「山形マツト死事件」など、いじめが要因とされる生徒の死が相次いでいた。「個性を認め合い、いじめを追放します。いじめがあれば勇気をもってみんなで止めます」。宣言文は代々引き継がれ、本年度も1学期末の生徒集会（7月20日）で、生徒会により読み上げられた。生徒主体で行つ「あの子の様子がおかしい」などの情報収集。登校時の声掛け運動では生

活委員が生徒の様子を「縦割り活動」は、校「ていいる」と松本校長。チェック。下校時には内放送などの当番や学各クラス6、7人の班校行事のチームをあえ長が、担任に「気になて3学年混合にする試地城と連携して（いじること）」などを伝えてみ。「先輩への憧れやめ追放の」風を起す後輩への思いやりが、ことを目標にしている。いじめ抑止策としていい意味での上下関係約10年前から取り組むと協調性を作ってくれ

掛川市挙げて取り組み

掛川市は小中学校の組みを進めている。いじめ問題について独自の対策マニュアルは国自の対策マニュアル策や県に先駆けて策定定や報告体制の整備なし、今週中に各学校に配布する予定。いじめをまとめる。いじめの

特徴として被害者と加害者のほか、周りで騒ぎ立てる「観衆」、無関心な「傍観者」の4層構造特を指摘し、未然防止の手だてに重点を置く。いじめ発生の報告については従来、市教委は重大案件だけ市当局に伝えることになつていたが、松井三郎市長は市議会9月定例会の一般質問答弁で「必要に応じて発生状況全体の報告を求め、全庁的

な体制で解決に取り組む」との方針を示した。